施設名

東和薬品株式会社

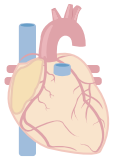
2026年6月改訂（DC-005848_02）

医薬品リスク管理計画
（RMP）

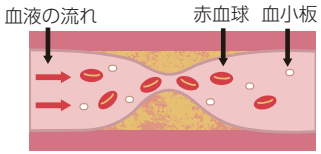
プラスグレル錠/OD錠「トーワ」を服用される患者さんへ

プラスグレル錠/OD錠「トーワ」は血栓をできにくくして、血管がつまるのを防ぐ薬です。

虚血性心疾患や虚血性脳血管障害の患者さんは血のかたまり（血栓）ができやすく、血栓が血管内でつまることにより、血液の流れが悪くなったり止まったりします。

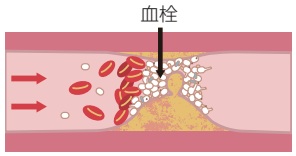


狭心症



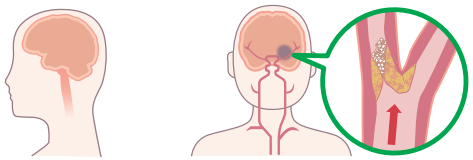
心臓の血管が
動脈硬化や血栓により狭くなる

心筋梗塞



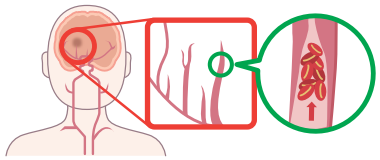
心臓の血管が
血栓で完全につまる

アテローム血栓性脳梗塞



脳の血管が
動脈硬化を起こしてつまる

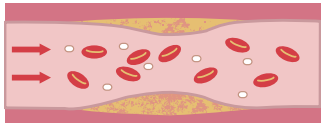
ラクナ梗塞



脳内の
細い動脈がつまる

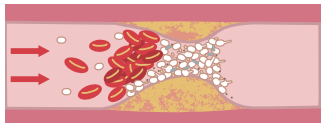
抗血小板薬のはたらき

この薬を服用すると・・・



血小板が集まってかたまりができるのを防ぎ、血液を流れやすくして、血栓を防ぎます

治療しないと・・・



血栓ができ血管がつまってしまうことがあります

この薬は、血小板のはたらきを抑えて血栓をできにくくし、血管がつまるのを防ぎます。このような薬は抗血小板薬（こうけっしょうばんやく）とよばれています。

この薬は1日1回服用する薬です。医師の指示どおりに毎日きちんと服用してください。

この薬を飲み続ける期間は、患者さんの病気の状態によって異なります。自分の判断で中止したり、服用回数を減らしたりすることは絶対にしないでください。**血栓により血管がつまってしまうおそれがあります。**

飲み忘れた場合には、気づいたときにすぐに飲んでください。ただし、次の服用時間が近い場合には1回分お休みして、次の服用時間から通常通り1回分を飲んでください。**絶対に2回分を一度に飲まないでください。**

- 自分の判断で中止したり、服用回数を減らしたりしない
- 2回分を一度に飲まない

毎日きちんと服用

この薬を服用している間は、血が止まりにくいため、出血に注意が必要です。定期的に受診をして、医師や薬剤師の指示を守ってください。

この薬などの抗血小板薬を服用している間は、通常よりも出血しやすく、また、出血した場合には血が止まりにくくなります。
以下のような症状があらわれた場合には、すぐに医師に連絡し、指示に従ってください。また、血液検査を受けるなど医師の指示に従ってください。

重大な出血時の症状

激しい頭痛、手や足のマヒ ろれつが回らない

血痰・吐血

痰に血が混じる
嘔吐物が黒っぽく、
血が混じる

血尿や血便

尿が茶色っぽくなる、
黒っぽい便、
血が混じる

予期せぬ出血など

転倒や事故などによる外傷で出血がなかなか止まらない
（特に頭部の出血は要注意）

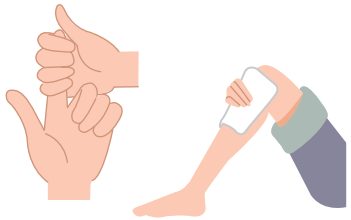
頭部を打った場合は、
たとえ出血していなくとも、
受診しましょう

紫色や赤色のあざ

鼻血や歯茎からの出血

出血時の応急処置

外傷で出血したとき



手指やタオルなどでグッと
おさえる（圧迫止血）

鼻血が出たとき

うつむいて鼻をおさえる

出血を避けるために

ケガのおそれのある仕事や運動は慎重に行うようにしましょう

転倒に注意しましょう

階段の上り下りは
手すりにつか
まるように

鼻をかむときは やさしくかみましょう

ヒゲを剃るときは電気シェーバーを使いましょう

歯ブラシは柔らかめを使いましょう

出血以外の副作用があらわれることがあるので、以下のような症状に気づいた場合や心配なことがある場合は、遠慮しないで医師にご相談ください。

出血以外の副作用を早期に見つけるために注意する症状

- □ 倦怠感（強い疲労感）
- □ あざができる（紫色・赤色）
- □ 熱がでる
- □ 発疹（ぶつぶつ）ができる
- □ 息苦しい
- □ 意識が低下する
- □ 眼や皮膚が黄色くなる
- □ 食欲がなくなる
- □ さむけ
- □ のどの痛み

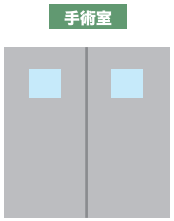
他の診療科にかかる際には、この薬を服用していることを必ず伝えてください。

歯の治療（抜歯）・手術・内視鏡検査などの際に血が止まりにくくなる場合があります。また、他の薬との飲み合わせによって、この薬の作用の強さが変わることがありますので、**歯科や他科の診察を受ける際には、この薬を服用していることを必ず伝えてください。**
他科での治療の際に、この薬の服用を中止するよう指示された場合には、服用を中止する前に、必ずこの薬を処方した医師に相談してください。

歯の治療や抜歯をするとき

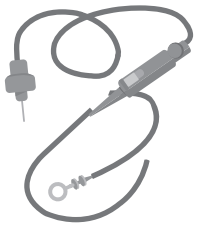
他の診療科にかかるとき

手術を受けるとき



他の新しい薬を飲むとき

内視鏡検査を受けるとき



また、転院するときは、この薬を処方した医師に処方歴を記載してもらい、転院先の医師にこの薬を服用していることを伝えてください。